

目 次

〈 繊維情報 〉

・2005年7月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2005年6月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	7
・世界 米国、欧州の対中繊維規制動向.....	10
・アジア 香港 2005年1～6月の繊維品貿易・輸出入共に堅調な増加推移.....	13
韓国 2005年1～6月の繊維品貿易・輸出は7%減、輸入は横ばい.....	15
インドネシア 2005年1～3月の繊維品貿易・輸出は大幅な増加、輸入は低調.....	18
・米州 米国 2005年6月の繊維品輸入・中国からの急増で過去最高を記録.....	21
2005年7月の小売店販売、堅調.....	24

〈 組合関係の会議と催事 〉

・(2005年8月)(2005年9月のスケジュール).....	28
---------------------------------	----

〈 お知らせ 〉

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	30
・10月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	31

〈 組合員情報 〉

・組合員情報.....	31
・海外取引照会・展示会案内.....	32



◎ 2005年7月の繊維品輸出概況

I. 繊維品全体の輸出

－前年同月比 8%減の 7 億 4,223 万ドルと大幅に減少－

2005年7月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比 8%減（前年同期比：横ばい）の 7 億 4,223 万ドルと大幅な減少となった。今年に入って輸出が減少推移となったのは 2 月以降初めてである。

なお、為替は 2004 年 7 月の 109.36 円に対し、2005 年 7 月は 111.94 円と 2%強の円安に転じており、円ベースでは 6%減（同 2%減）の 830 億 8,500 万円となっている。

<主要地域別輸出>

7 月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の 78%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けが前年同月比 8%減（同 1%減）の 5 億 9,413 万ドルと減少に転じたのが、全体の輸出減少の地域的な大きな要因となった。

東アジアの主要国向けでは、増加推移となったのは、ベトナム、インドネシアのみで、最大市場の中国を始め、香港、韓国、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピンは軒並み減少推移となった。

純輸出市場向けは、シェア 3%の西アジアは、サウジアラビアが好調を維持しているが、アラブ首長国が振るわず、全体として 14%減（同 3%減）の 2,155 万ドルとなった。

欧米市場も共に不振で、シェア 8%の EU は 3%減（同 6%増）の 4,899 万ドル、また、シェア 7%の米国も 12%減（同 2%増）の 4,994 万ドルと揃って減少推移となった。

<主要商品別輸出>

7 月の輸出を主要商品別に見ると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で 5%増（同 3%減）、金額で 11%増（同 7%増）と、数量、金額共に好調な推移となった。太宗の合繊綿は、数量で 8%増（同 3%減）、金額で 15%増（同 11%増）となった。この内、主力のアクリル綿は、最大輸出先の中国またインドネシアが大幅に増加し、イランは壊滅状況となったが、全体としては、数量で 15%増（同 3%減）、金額で 20%増（同 10%増）となった。

一方、ポリエステル綿は、タイは増加したが、EU、中国が大きく落ち込み、数量で 23%減（同 9%減）、金額で 16%減（同 3%増）となった。その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU 向けが健闘し、数量で 11%増（同 13%増）、金額で 18%増（同 18%増）となった。

スフ綿は主力の中国が減少したが、ベトナム、タイ、アフリカ等が伸び、数量で 1%増（同 4%減）、金額で 3%増（同 1%減）と数量、金額ともに増加推移となった。

糸類の輸出は、数量で 5%減（同 4%増）、金額で 4%減（同 5%増）と数量、金額共に減少推移となった。

主力の合繊長糸は数量で 3%減（同 4%増）、金額で 4%減（同 4%増）となった。その内訳は、ポリエステル糸は、中国を中心とする東アジア、米国が順調に推移し、数量で 1%増（同 4%増）、金額で 14%増（同 16%増）となった。一方、ナイロン糸は、中国、タイを中心とする東アジアが振るわず、数量で 37%減（同 1%増）、金額で 21%減（同 4%増）となった。その他の合繊長糸では、ポリウレタン糸は中国が増加したが、香港、EU が減少し、数量で 10%減（同 7%減）、金額で 29%減（同 17%減）となった。

また、人絹糸は、主力の韓国が大幅に減少し、中国は増加したが、数量で 15%減（同 20%増）と減少した。但し、金額では、単価のアップにより 10%増（同 26%増）となった。

太宗の織物類の輸出は、数量で 9%減（同 6%減）、金額で 13%減（同 5%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で 16%減（同 11%減）、金額で 17%減（同 9%減）と依然低迷推移が続いている。

地域的には、全体の 72%を占める東アジア向けは、中国、香港、ベトナム、韓国、台湾、タイ等主要国は軒並み振るわず、東アジア全体として 16%減（同 7%減）となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビアが大幅に増加し、最大市場のアラブ首長国が減少したが、西アジア全体として横ばい（同 13%減）に止まった。

欧米市場向けは、引き続き不振が続いており、EU 向けは 23%減（同 14%減）、米国は 26%減（同 29%減）と大きく後退した。

ナイロン織物は、数量で 3%減（同 7%増）、金額で横ばい（同 2%増）となった。シェア 80%の東アジア向けは、香港が減少したが、主力の中国が好調に推移し 3%増（同 12%増）となった。一方、シェア 10%の米国は 20%減（同 9%減）と大幅な減少となった。

綿織物は、数量で 12%減（同 7%減）、金額で 17%減（同 5%減）と数量、金額共に 2 桁の減少推移となった。83%のシェアを占める最大市場の東アジア向けは、ベトナム、タイ、台湾は大幅に増加したものの、中心市場の中国、香港が減少し、東アジア全体として 10%減（同 6%減）となった。その他の市場では、シェア 11%の米国は 39%減（同 13%減）と激減したが、シェア 2%の EU は 41%増（同 11%増）と激増し、欧米市場は対照的な推移となった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で横ばい（同 4%増）、金額で 3%減（同 3%増）と数量横ばいの金額減となった。全体の 66%を占める東アジア向けは、香港が大幅に増加したが、最大市場の中国、ベトナムが減少し、東アジア全体として 3%減（同横ばい）となった。一方、シェア 33%の民族衣装用の西アジアは、アラブ首長国は減少したものの、サウジアラビア、クエートが共に大幅な増勢で推移し、西アジア全体として 10%増（同 14%増）となった。

人絹織物は、数量で 19%増（同 3%増）、金額で 2%増（同 8%減）と健闘した。シェア 74%の東アジアは、中国、香港が好調に推移し、東アジア全体として 27%増（同 8%増）の大幅増加となった。一方、シェア 10%の西アジアは、サウジアラビアは増加したが、アラブ首長国が不振で、全体として 11%減（同 3%減）となった。

織維品輸出実績(2005年7月)

単位	2005年7月				2005年1月~7月				2004年実績			
	数量		金額		数量		金額		数量		金額	
	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル
織維品総合計	36,232	83,085	742,230	92	2,426,133	505,496	4,720,626	98	100	900,766	8,330,992	
原料(綿)合計	5,379	9,379	82,785	105	111	60,799	568,528	97	106	99,966	923,956	
スワップ	27,850	2,010	17,953	101	103	12,788	119,573	96	99	23,267	215,237	
合織綿	3,453	7,136	63,745	108	115	46,226	432,205	97	109	73,095	675,403	
(ポリエステル)	22,257	622	5,559	77	84	26,652	42,786	91	102	8,007	74,063	
(アクリル)	10,910	5,399	48,231	115	120	33,140	309,717	97	109	243,538	485,070	
糸 合計	1,029	8,076	72,145	95	96	77,693	513,003	104	103	94,082	870,337	
人絹糸	12	22	194	66	53	200	2,567	108	81	591	72,916	
合織長糸	1,806	6,115	54,626	97	96	63,445	400,238	104	102	73,641	681,155	
(ナイロン)	3,088	1,471	13,140	101	113	23,751	98,334	104	114	16,719	154,685	
(ポリエステル)	368	313	2,800	77	75	2,583	18,817	73	80	4,164	38,476	
合織短糸	460	333	2,974	150	134	2,861	20,018	119	115	3,756	34,881	
綿 糸	114,781	34,884	311,635	91	87	702,763	2,042,227	94	94	1,295,836	3,557,638	
織物合計	844	1,180	10,537	133	102	4,696	72,998	112	98	13,304	123,079	
絹織物	7,525	2,221	19,837	119	102	46,020	132,128	103	90	26,662	246,677	
人絹織物	1,382	555	4,960	103	81	7,666	29,416	80	77	6,923	64,317	
スワップ	58,505	13,213	118,038	86	86	326,199	69,181	644,516	92	93	1,201,387	
合織長織物	6,110	1,368	12,217	97	100	33,993	62,489	107	101	11,163	103,187	
(ナイロン)	46,653	9,983	89,178	84	83	256,368	51,396	478,602	89	91	98,356	
(ポリエステル)	14,851	3,906	34,893	105	98	96,826	22,814	213,036	103	104	166,635	
合織短織物	25,694	9,051	80,859	88	83	192,195	66,353	621,143	93	94	39,208	
綿織物	5,890	4,720	42,166	86	83	26,597	18,808	174,514	95	96	123,887	
毛織物	45,059	4,622	41,287	93	97	330,093	31,450	293,905	104	108	42,026	
不織布	1,110	187	1,669	96	100	10,113	15,075	128	140	51,660	477,610	
タイヤコード織物	1,746	4,280	38,234	96	94	10,976	26,062	242,796	106	105	2,190	
コート織物		6,919	61,808	105	106	37,071	345,499	104	106	41,001	378,474	
ニット生地		3,412	30,477	58	58	22,346	209,445	75	76	61,999	573,419	
アパレル		11,327	101,189	99	99	67,091	625,953	104	105	53,076	489,518	
その他										112,522	1,039,786	

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び65類~69類の一部商品。

毛織物は、数量で14%減（同5%減）、金額で17%減（同4%減）と数量、金額共に2桁の減少となった。地域的には、東アジアが97%とほぼ全量を占めている。ベトナム、台湾、フィリピンは好調に推移したが、圧倒的なシェアを占める持ち帰り用の中国、また香港が不振で、東アジア全体として13%減（同6%減）となった。

不織布の輸出は、数量で7%減（同4%増）、金額で3%減（同10%増）と不振推移となった。全体の64%を占める東アジアは、主要国では、中国、香港、タイは健闘したが、韓国、台湾が激減し、全体として32%減（同12%減）の大幅減少となった。一方、欧米市場、特に米国市場は好調に推移し、シェア25%の米国130%増（同71%増）、シェア7%のEUは2%増（同41%増）となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で4%減（同6%増）、金額で6%減（同6%増）と数量、金額共に低調な推移となった。全体の81%を占める東アジアは、タイが健闘したが、最大市場の中国、香港、ベトナムが減少し、全体として10%減（同2%増）となった。欧米市場は、シェア7%の米国は3%減（同60%増）、一方シェア5%のEUは44%減（同8%減）と共に低調な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で1%減（同2%増）、金額で5%増（同6%増）と数量微減の金額増となった。全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国別では、最大市場の中国、台湾、タイが増加推移、一方香港、韓国、ベトナム、インドネシアは減少推移となった。欧米市場向けは、米国は61%増（同73%増）と大幅増となったが、EUは9%減（同30%増）と低調な推移となった。

アパレルの輸出は、金額で42%減（同24%減）と大幅な後退が続いている。

内容的には、布帛製衣類の外衣類は、香港は好調に推移したが、中国、台湾、米国が振るわず、金額で24%減（同8%増）となった。下着類も、中国、台湾は健闘したが、香港、韓国が大幅に減少し、金額で10%減（同20%減）となった。

一方、ニット製衣類は、ニット製衣類輸出の主力であった香港向けのニットパネル（最終中国で編み立て後米国向け）の輸出が、2005年からの米国の対中国枠の撤廃により、激減状況となっており、外衣類は金額で68%減（同55%減）、下着類も58%減（同38%減）と各々壊滅的な減少となった。

Ⅱ. 原料（綿・糸）の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、主要品目ではポリエステル綿が減少推移となったが、スフ綿が微増推移、ビニロン綿及び主力のアクリル綿が増加推移となり、全体では5%増の36,232トン、金額についても11%増の8,378万ドルとなった。

2005年7月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2005年7月				2005年1～7月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,379	101	17,953	334	36,029	96	119,573	332
合繊綿	27,850	108	63,745	229	185,043	97	432,205	234
ポリエステル	3,453	77	5,559	161	26,652	91	42,786	161
アクリル	22,257	115	48,231	217	140,804	97	309,717	220
他合繊綿	2,138	108	9,954	466	17,856	113	79,702	446
人絹糸	1,029	85	6,780	659	7,497	120	50,065	668
合繊長糸	8,820	97	54,626	619	63,445	104	400,238	631
ナイロン	1,806	63	12,686	703	14,595	101	92,985	637
ポリエステル	3,088	101	13,140	425	23,751	104	98,334	414
他合長糸	3,926	124	28,799	734	25,099	105	208,920	832
綿糸	460	150	2,974	647	2,861	119	20,018	700

出所：財務省統計

<糸輸出>

糸は、綿糸が増勢推移となった他は、人絹糸、合繊短繊維糸、主力の合繊長繊維糸が減少推移となり、全体では5%減の10,910トン。金額についても4%減の7,214万ドルとなった。

Ⅲ. 織・編物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出

7月の織物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出は、先月に続き、ポリエステル長繊維織物を始め、綿織物、毛織物の主要織物が揃って低調な推移となり、織物トータルで、数量で前年同月比9%減（前年同期比6%減）、金額で13%減（同5%減）となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていないニット生地、コーテッド織物も数量面では減少推移となった。

市場的には、織物トータルで、主力の東アジアは、主要国では、ベトナム、タイが数量、金額共に前年同月を上回り、台湾は数量増の金額微減となった。一方、最大市場の中国を始め香港、韓国、シンガポール、フィリピン、インドネシア、マレーシアは数量、金額ともに前年同月を下回り低調な推移となった。

また、純輸出市場では、西アジアは、サウジアラビアは特にポリエステル（長・短）織物の好調から数量、金額共に大幅な増加となったが、アラブ首長国はポリ長織物が振るわず、数量、金額共に減少推移となった。一方、欧米市場は、米国は主力のポリエステル長繊維織物、綿織

物が不振で数量、金額共に減少、EU はポリ長織物の不振が続いているが、綿織物の健闘により、金額では横ばい推移となった。

2005年7月の織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出状況

単位：1,000SM、1,000\$、前年比は数量比 %

	2005年7月			2005年1-7月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	844	10,537	133	4,696	72,998	112
人絹織物	7,525	19,837	119	46,020	132,128	103
スフ織物	1,382	4,960	103	7,666	29,416	80
合織(長)織物	58,505	118,038	86	326,199	644,516	92
ポリ(長)織物	46,653	89,178	84	256,368	478,602	89
ナイロン織物	6,110	12,217	97	33,993	62,489	107
合織(短)織物	14,851	34,893	105	96,826	213,036	103
ポリ(短)織物	13,416	31,703	100	88,724	196,654	104
綿織物	25,694	80,859	88	192,195	621,143	93
毛織物	5,890	42,166	86	26,597	174,514	95
コーテッド織物	1,746	38,234	96	10,976	242,796	106
ニット生地	16,873	61,808	99	104,245	345,499	102

- (注) 1. ポリエステル(長)、ナイロン(長)織物は、ポリエステル、
ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。
2. コーテッド織物の数量単位はトン。

IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2005年7月の輸出は、金額(ドル)ベース(以下同じ)で、アパレルは総じて振るわず、布帛製外衣・下着、メリヤス製外衣・下着いずれの品目も大きく減少推移となり、全体では前年同月比42%減となった。その他については、敷物が増加推移、細幅織物・紐類が横這い推移、漁網・その他の網・網地が減少推移となった。

2005年7月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：1,000ドル、金額：前年比%

	2005年7月		2005年1～7月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	17,106	77	118,008	95
外 衣	9,555	76	68,253	108
下 着	4,031	90	25,819	80
スカーフ・マフラー	880	145	4,399	120
ニット製衣類・付属品	13,371	43	91,438	61
外 衣	4,629	32	25,589	45
下 着	5,015	42	45,575	62
敷 物	2,844	142	18,472	119
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	2,466	85	22,759	113
細 幅 織 物 ・ 紐 類	17,083	100	112,508	106

◎ 2005年6月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

6月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比106.1%（前月比は101.4%）、ドルベースで同107.0%（前月比は99.8%）、数量(重量)で同105.2%（前月比は97.2%）と、円・ドル金額が3ヶ月連続で増加、数量も3ヶ月連続で増加となった。前月比は、夏物衣料から秋冬物への端境期のため金額、数量ともほぼ横這いとなった。

糸類は、数量で前年同期比0.7%減と前月の6ヶ月ぶりの増加から僅かながら再び減少、内訳は人織(長)糸、その他の糸が増加、絹糸、毛糸、綿糸、人織(短)糸は減少となった。織物類は同9.3%増と3ヶ月連続で増加、絹織物、綿織物、黄麻織物、人織(長)織物、人織(短)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、毛織物は減少した。衣類は同5.4%増と2ヶ月続けて増加。衣類を除くインテリア用品等二次製品は同6.5%増と8ヶ月続けて増加した。

前月はドル金額が17.9%、円金額が12.2%、数量が9.6%と大きく増加したが、今月はドル金額が7.0%、円金額が6.1%、数量が5.2%と落ち着いた増加となった。円金額の内訳を見ると、二次製品が8.9%増と引き続き増加を続けているのに加え、太宗を占める衣類も7.5%の増加、織物類は0.6%の微増、糸類は9.4%減少したものの、繊維製品計では6.1%の増加となった。

2. うち糸類

➤ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比6.3%減、前年同月比も1.2%の微減となった。全体の9割近くを占める純綿糸の輸入を前月に比較すると、国別では、年初来低水準輸入が

続いていた中国が今年最高の輸入量となったこともあり 9.1%の増加となったが、主力のパキスタンが 2.7%の微減、量的に少ない韓国も 28.5%、輸入国 2 位のインドネシアも 24.3%と大きな減少となった。番手別では、主力の 20 番手中心が 11.5%、30 番手中心が 5.2%、40 番手以上が 2.7%それぞれ減少となった。糸種別でも、カード糸 12.4%の減、コマ糸も 1.0%の微減となった。なお、混紡綿糸は 6.1%の増加となっている。

- ▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース 8.3%減と前月より減少幅を戻したものの、9ヶ月連続の減少となった。糸種別に見ると、紡毛糸の輸入が同 74.5%減と大きく減少し2ヶ月連続の減少となったものの、太宗を占める梳毛糸は同 0.1%減とほぼ前年並み。国別では、トップシェアの中国が同 11.4%減と2ヶ月続けて減少、次ぐマレーシアは 25.1%の増加となったが、引き続きイタリア、ペルー、タイからの輸入が大幅に減少した。この他では台湾からの輸入が 174.3%増と大きな伸びを示した。
- ▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 6.2%の増、前年同月比も 10.1%の増加となり2ヵ月連続のプラスとなった。主要商品を前月に比較すると主力商品の台湾などからのポリエステル糸がほぼ横ばいの 0.2%増、米国、中国からのナイロン糸が前月の落ち込みもあり 24.6%増、量的に少ない中国を中心とする人絹糸も同様 25.0%の大幅増となった。一方、人織(短)糸は、主力商品の T/C,T/R でインドネシアからのポリエステル紡績糸が 6.3%の増となったものの、インドネシア、中国からのマイヤー毛布用のアクリル紡績糸が 4.8%減、スフ糸も 26.5%の減少となったため全体では 2.5%の微減にとどまった。前年同月比も 22.5%下回り 17ヵ月連続のマイナスが続いている。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 17.4%増、前年同月比も 7.3%増といずれも前月に比し反転した。国別で前月に比較すると、主要国で2位のインドネシアが 15.2%、3位のパキスタンが 4.3%それぞれ減少となったものの、全体の8割を占める中国が 30.1%の大幅増となったことにより全体を引き上げた。品目別にみると、主要3大商品はポプリン 29.6%、金巾 20.4%、粗・細布 34.1%と大きく増加した。
- ▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 17.9%減と、前月まで続いた増加の反動からか 22ヶ月ぶりに減少した。イタリアからの輸入が同 0.3%増と2ヶ月ぶりに増加したものの、中国からの輸入が前月までの増加から 35.1%の大幅減となったことによる。品種別では、紡毛織物が同 47.3%減と前月まで2ヶ月連続の増加から減少に転じたのに加えて、主力の梳毛織物も同 10.2%減と2ヶ月続けて減少した。
- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 10.6%減となったものの、前年同月比で見ると、32.8%の大幅増となり8ヵ月連続のプラスとなった。品目別に前月に比較すると、主力商品のポリエステル織物が 36.5%と大きく減少したのをはじめ、ナイロ

ン織物 7.5%、ポリプロピレン等その他も 10.9%とそれぞれ減少した。国別にみると首位の中国が 12.9%の増加となったものの、韓国 26.1%、台湾 28.2%、インドネシア、ベトナム等その他 4.0%それぞれ減少となった。一方、人織(短)織物はT/C, T/Rのポリエステル、アクリル織物はほぼ横ばいとなったものの、インドネシアを中心とするスフ織物が 14.6%減となったことにより、全体では 5.0%のマイナス、前年同月比は 4.6%増で 13 ヶ月連続の増加となった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比枚数で 10.9%増、布帛製衣類も同 5.5%増、身の廻り品も重量ベース 16.2%増となり、衣類計では重量ベース 5.4%増となった。ニット製衣類が 3 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 3 ヶ月連続で増加、身の廻り品は 8 ヶ月続けて増加し、衣類計は 2 ヶ月続けて増加した。

主要国別に見ると

- ▶ 中国は、対前年同月比枚数ベースでニット製衣類が 11.8%増加し 3 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 3.7%増加し 3 ヶ月連続で増加、身の廻り品は重量ベース 17.2%増で 8 ヶ月連続の増加となった。今年 1 月から 6 月までの累計での衣類計(重量ベース)のシェアは 90.4%となった(金額ベースでのシェアは 80.4%)。
- ▶ 韓国はニット製衣類が同 6.3%減少、布帛製衣類は 81.7%の大幅な増加となり、ニット製衣類が 15 ヶ月連続の減少、布帛製衣類は 3 ヶ月連続で増加した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 30.2%減と 6 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も 26.9%減と 6 ヶ月ぶりに増加した前月から再び減少。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 20.4%増と 2 ヶ月続けて増加、布帛製衣類も 35.3%増と 2 ヶ月連続で増加となった。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではコート、ジャケット、ズボン、ドレス、スカート、アウターシャツ、セーター、スポーツウエア、下着類などが増加、スーツ、アンサンブルが減少。布帛製衣類では紳士用はスーツ、アンサンブル、ズボンが増加、コート、ジャケット、下着類など減少、婦人用ではドレス、スカートが増加、コート、スーツ、ジャケット、ブラウス、下着類などが減少した。

前月は数量、金額ともに約 10~15%程度の大幅増となったが、今月は数量、金額とも 1 桁台の増加となった。今年の上半期(1~6月)で見ると、繊維製品全体では重量ベース前年同期比 2.7%、金額は円ベースで 4.7%、ドルベースで 7.0%とそれぞれ増加した。なお、上半期の平均為替レートは前年同期比で約 2.1%の円高となっている。また、品目別に重量で見ると、糸類が 3.7%の減少、織物が 6.2%の増加、衣類が 1.2%増加、二次製品類が 7.8%増加となった。



◎ 米国、欧州の対中繊維規制動向

1. 米国と欧州の繊維規制枠及び消化状況

米国の対中繊維セーフガード関連品目とその動向（8月30日現在）とEUの対中規制品目の消化状況を（8月31日現在）を纏めると各々次表のとおりである。

米国は規制8品目中6品目がエンバーゴーとなっており、近く1品目が満枠消化となる見通しである。また、EUは規制10品目中7品目がI/Lベースで枠は満枠となっており、近く2品目が満枠消化となる見通しである。

2. 米国、新たに2品目についてセーフガードを発動

米国CITA（繊維協定遂行委員会）は、9月1日、発動の可否の最終決定を8月31日まで延期していた6品目のうち、2品目についてセーフガードの発動を決定し、中国に二国間協議を要請した。

同時に、4品目のセーフガード発動の可否の最終決定を10月1日まで再延期した。

セーフガード発動2品目及び規制枠は次のとおり。（規制期間：2005年8月31日～2005年12月31日）

* CA.349/649（綿・化合繊維製ブラジャー）：7,275,216 ダース

* CA.620（その他合繊維長繊維織物）：12,328,306 平方メートル

これは、8月30日から9月1日まで北京で開催されていた、米中の包括的な繊維協定締結交渉が物別れに終わったことを受けて決定された。但し、協議は今後も続けられる。

3. EU、中国繊維品滞貨問題で、何らかの輸入再開を認める方針

一方、EUも相次ぐ規制品目のエンバーゴーによる滞貨問題は、大きな問題となっており、EUはこの問題を協議するため、8月25日、中国に専門家チームを派遣し29日まで協議が行われた。

協議の具体的な内容は明らかになっていないが、EU委員会のマンデルソン通商担当委員は29日の声明で、中国との協定により、EUの小売業者が、不公正で不利な立場に立つことは容認できないと述べ、滞貨中国品の封鎖解除措置を表明しているが、その内容、具体的な対象品目等については、言及していない。

これを受けて、EU加盟国は、31日に大使級会合を開き数量規制の上限を超えた中国製品の輸入を早期に認める方針で一致したが、今後の対応については、ドイツやオランダ、北欧諸国は小売業者の要請を受け、数量規制の上限を引き上げる案を支持、一方国内に強い繊維産業を抱えるフランスやイタリアなどは上限を超えた輸入を認める代わりに2006年枠を減らすよう求めており、意見調整に手間取る可能性もある。

米国の対中繊維セーフガード関連品目及び動向(2005.8.30 現在)

1. 対中繊維セーフガード発動品目

カテゴリ-No.	品目名	発動日	最長期限	消化率	備考
338/339	紳士・婦人用綿製シャツ、ブラウス(ニット)	2005.5.23	2005.12.31	100.0%	エンバーゴ- (7月5日)
347/348	紳士・婦人用綿製ズボン	2005.5.23	2005.12.31	100.0%	エンバーゴ- (7月8日)
352/652	綿・化合繊維下着	2005.5.23	2005.12.31	100.0%	エンバーゴ- (7月5日)
340/640	紳士用綿・化合繊維シャツ(布帛)	2005.5.27	2005.12.31	98.5%	
647/648	紳士・婦人用化合繊維ズボン	2005.5.27	2005.12.31	100.0%	エンバーゴ- (8月3日)
638/639	紳士・婦人用化合繊維シャツ・ブラウス	2005.5.27	2005.12.31	100.0%	エンバーゴ- (7月12日)
301	綿糸(コームド)	2005.5.27	2005.12.31	26.7%	
332/432/632pt.	靴下類	2004.10.29	2005.10.28	100.0%	エンバーゴ- (5月12日)
349/649	綿・化合繊維ブラジャー	2005.8.31	2005.12.31		新規発動
620	その他繊維(長)織物	2005.8.31	2005.12.31		新規発動

2. 対中繊維セーフガード申請が受理され現在その是非を審議中の品目

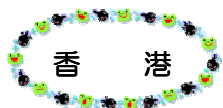
カテゴリ-No.	品目名	受理日	備考
350/650	綿・化合繊維ドレッシングガウン	2005.4.6	最終決定10月1日まで延期(再延期)
222	ニット生地	2004.12.13	最終決定10月1日まで延期(再延期)
447	毛製ズボン	2004.12.6	最終決定10月1日まで延期(再延期)
345/645/646	紳士・婦人用綿・化合繊維セーター	2005.4.6	最終決定10月1日まで延期(再延期)
369/666	綿・化合繊維カーテン、ドレパリー	2005.7.14	
341/641	綿・化合繊維シャツ	2005.8.1	
342/642	綿・化合繊維スカート	2005.8.1	
351/651	綿・化合繊維寝衣	2005.8.1	
359s/659s	綿・化合繊維水着	2005.8.1	
332/432/632pt.	綿・毛・化合繊維靴下	2005.8.1	既発動の再延長申請

EUの対中規制品目控消化状況(2005年06月11日～2005年12月31日) : 0月31日現在

Ca.No	単位	品目詳細	枠	I/L発給量	控消化率 (%)	E/L発給量	控消化率 (%)	備考
2	トン	綿織物(ガーゼ、テリー、細幅、パイル、シェニール、チュール及びその他ネット生地を除く)	26,217	10,427	40	2,653	10	
4	1000枚	ニット製下着(シャツ、T-シャツ、ポロ、プルオーバー(毛製は除く))	150,985	151,408	100	22,259	15	I/L 満枠
5	1000枚	ニット製ジャージ、プルオーバー、カーディガン、ジャンパー、アノラック	68,974	136,723	198	160	0	I/L 満枠
6	1000枚	布帛製男子用パンツ、シヨーツ、プリーフ(水泳パンツ、ズボンを除く)、女性用ズボン、スラックス	104,045	112,624	108	4,721	5	I/L 満枠
7	1000枚	女性用ブラウス、シャツ、半袖ブラウス	24,761	24,791	100	3,383	14	I/L 満枠
20	トン	布帛製ベッドリネン	6,451	5,920	92	444	7	
26	1000枚	女性用ドレス	7,959	7,965	100	1,114	14	I/L 満枠
31	1000枚	ブラジャー	96,086	96,980	101	20,612	21	I/L 満枠
39	トン	テーブルリネン、トイレットリネン、キッチンリネン(綿製テリータオルは除く)	5,521	4,565	83	309	6	
115	トン	フラックス・ラミー糸	1,911	1,948	102	126	6	I/L 満枠

(注)1. カテゴリー5及び6は、既に輸入ライセンス発給量が枠を超過し、I/Lの発給は現在停止されている。これは枠の発給日の、6月11日からEUの当該管理規則が発効した7月12日の1日前の7月11日までに船積された貨物には、自動的にI/Lが発給されているためで、EUは、現在7月12日以降船積の貨物もI/Lが取得出来るよう、何らかのフレキシビリティ条項(次年度枠の繰り入れ、カテゴリー間の枠の融通等)を検討中

(注)2. E/L発給(中国側)は、7月20日からで、これ以降は、中国のE/Lの提示を受けてI/Lが発給される。(但し枠内であることが条件)



◎ 2005年1～6月の繊維品貿易・ 輸出入共に堅調な増加推移

香港の2005年1～6月の繊維品貿易は、輸出が6%増の180億5,641万ドル、輸入も5%増の147億9,463万ドルと、輸出入共に今年に入って堅調な増加推移となっている。

<輸 出>

地域別の輸出先をみると、全体の45%を占める東アジア向けが3%減の81億6,432万ドル、26%を占める北米が21%増の46億1,172万ドル、22%を占めるヨーロッパが17%増の40億384万ドルで、この3地域で全体の93%を占めているが、東アジアが減少しているのに対し、今年から枠がフリーとなった欧米向けが中国ほどではないが、共に2桁の増加を記録しているのが注目される。

国別輸出では、1位の中国は6%減の55億3,794万ドルと減少したが、続く米国が20%増の42億5,439万ドル、EUが18%増の38億2,483万ドル、日本が3%増の7億5,448万ドル、カナダが26%増の3億5,733万ドルと、中国以外の主要国向けは軒並み増加推移となっている。

品目別輸出では、全体の62%を占める最大輸出品目の衣料品は、ニット製衣料品が12%増の53億6,744万ドル、布帛製衣料品が同じく12%増の58億5,165万ドルで、共に2桁の増加と好調に推移しており、全体の繊維品輸出を牽引している。

織物類の輸出は、数量で6%減の41万778トン、金額で横ばいの25億702万ドルとなった。織物の素材別では、最大輸出品目の綿織物は数量で3%増の27万3,373トン、金額で3%増の15億5,785万ドルと数量、金額共に堅調な推移となった。

合繊長繊維織物は、主力のポリエステル長繊維織物が数量で21%減の3万7,101トン、金額で8%減の2億572万ドル、ナイロン織物が数量で37%減の2万8,213トン、金額で21%減の1億3,641万ドルと大幅に減少し、合繊長繊維織物全体として、数量で25%減の7万7,625トン、金額で10%減の4億2,415万ドルと数量、金額共に低調な推移となった。

原料関係も不振で、糸類の輸出は、数量で5%減の48万8,075トン、金額で9%減の18億1,603万ドルとなった。主要品目別では、綿糸が数量で1%減の32万3,770トン、金額で15%減の9億560万ドル、合繊長繊維糸が数量で7%減の7万2,412トン、金額で3%減の3億170万ドル、合繊短繊維糸が数量で18%減の5万2,528トン、金額で15%減の2億2,004万ドルとなった。また、綿類の輸出は、合繊綿が激減し、全体で、数量で43%減の6万8,515トン、金額で23%減の1億914万ドルとなった。

2005年1～6月の香港の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2004年実績		2005年(1～6)		2004年実績		2005年(1～6)		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	272,072	30,419,920	104,212	14,794,634	68,515	18,056,407	57	7,777	106
スフ綿	12,259	42,022	6,139	21,740	3,757	12,262	97	86	86
合繊綿	138,100	171,696	43,894	65,008	39,395	59,432	57	77	77
(ポリエステル)	127,184	138,505	39,498	49,134	34,229	41,547	53	65	65
(アクリル)	5,450	11,738	2,743	6,353	3,161	7,932	100	109	109
糸合計	1,084,510	4,213,991	545,047	2,143,781	488,075	1,816,032	95	91	91
人絹糸	10,898	65,811	5,572	33,279	4,316	27,741	81	91	91
スフ糸	24,558	132,401	12,195	72,623	10,671	58,615	103	116	116
合繊長繊維糸	184,351	703,445	80,487	332,897	72,412	301,697	93	97	97
(ナイロン)	74,816	258,063	35,357	137,590	34,073	130,293	109	126	126
(ポリエステル)	70,727	158,243	26,653	62,639	22,581	53,376	81	84	84
合繊短繊維糸	127,318	493,871	59,029	242,068	52,528	220,039	82	85	85
綿糸	676,679	2,019,087	358,102	964,343	323,770	905,597	99	85	85
織物合計	902,200	5,172,404	398,686	2,404,972	410,778	2,507,019	94	100	100
絹織物	4,321	161,624	2,183	80,776	1,694	64,768	112	120	120
人絹織物	17,201	162,419	7,265	71,879	5,647	56,241	93	103	103
スフ織物	6,249	65,329	2,769	26,833	2,407	21,916	48	75	75
合繊長繊維織物	234,161	1,151,849	85,223	509,291	77,625	424,145	75	90	90
(ナイロン)	96,907	403,547	32,247	173,803	28,213	136,409	63	79	79
(ポリエステル)	111,189	566,705	41,080	243,366	37,107	205,719	79	92	92
合繊短繊維織物	76,809	454,818	36,388	222,761	34,428	196,575	92	96	96
綿織物	514,555	2,674,951	247,916	1,286,421	273,373	1,557,852	103	103	103
毛織物	8,428	205,999	4,502	116,289	3,420	82,807	127	125	125
不織布	27,374	167,985	13,267	84,572	11,786	82,671	108	108	108
タイヤコード織物	3,717	13,362	1,619	6,980	1,627	7,329	101	126	126
コーテッド織物	134,949	487,911	61,469	267,892	55,438	247,764	96	116	116
ニット生地	542,944	2,740,636	261,887	1,316,936	251,945	1,384,229	96	96	96
ニット製衣料		8,816,510		3,905,757		5,267,435		112	112
布帛製衣料		7,164,803		3,841,178		5,851,647		112	112
その他		1,285,550		676,948		791,367		104	104

出所：香港通関統計

<輸 入>

輸入については、地域別では、92%と圧倒的なシェアを占める東アジアからの輸入が5%増の135億4,234万ドル、6%のシェアのヨーロッパが6%増の9億5,161万ドルで、両市場からの輸入が98%を占め、共に増加傾向で推移した。

国別では、1位が中国で14%増の105億7,403万ドル（シェア71%）、2位はEUで8%増の8億9,432万ドル、3位は台湾で10%減の8億3,936万ドル、4位は香港（注：香港の統計では、第三国（ほとんどが中国と思われる）に原材料を輸出し完成品を輸入した場合、その付加価値部分は、中国からの輸入となるが、原材料輸出部分は香港の輸入（再輸入）として分類される。）で24%減の6億1,051万ドル、5位は韓国で11%減の4億4,567万ドル、6位は日本で15%減の4億3,252万ドルとなっている。

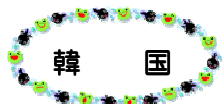
品目別輸入では、全体の52%を占める最大品目の衣料品は、ニット製衣料品が8%増の39億576万ドル、布帛製衣料品が16%増の38億4,118万ドルと何れも高水準の推移となっている。

その他の輸入は総じて低調で、織物類は数量で8%減の39万8,686トン、金額で横ばいの24億497万ドルとなった。品目別では、最大品目の綿織物は数量で5%増の24万7,916トン、金額で7%増の12億8,642万ドルと数量、金額共に増加した。

合繊長繊維織物の輸入は、数量で33%減の8万5,223トン、金額で13%減の5億929万ドルと大幅な減少となった。この内訳は、ポリエステル長繊維織物は数量で30%減の4万1,080トン、金額で15%減の2億4,337万ドル、ナイロン織物は数量で41%減の3万2,247トン、金額で18%減の1億7,380万ドルと何れも大きく減少している。

原料関係では、糸類は、綿糸の輸入が数量で1%増の35万8,102トン、金額で12%減の9億6,434万ドル、合繊長繊維糸が数量で11%減の8万487トン、金額で2%減の3億3,290万ドル、合繊短繊維糸が数量で18%減の5万9,029トン、金額で11%減の2億4,207万ドルとなり、糸全体では、数量で4%減の54万5,047トン、金額で4%減の21億4,378万ドルと数量、金額共に減少した。

また、綿類の輸入は、合繊綿が大幅な減少推移となり、綿類全体として数量で29%減の10万4,212トン、金額で20%減の1億4,562万ドルとなった。



◎ 2005年1～6月の繊維品貿易・ 輸出は7%減、輸入は横ばい

<輸出は前年比7%減の68億3,078万ドル>

韓国の通関統計によれば、2005年1～6月の繊維品輸出は、クオータフリーによる中国等の躍進の影響もあり、織物類の不振を主因として、前年同期比7%減の68億3,078万ドルと苦戦を余儀なくされている。

市場的には、シェア 54%を占める東アジア向けは、横ばいの 36 億 9,039 万ドルに止まったが、17%を占める北米が 18%減の 11 億 3,360 万ドル、12%を占める欧州が 13%減の 8 億 5,323 万ドルと、欧米市場が各々 2 桁の減少となっている。

主要国では、第 1 位市場の中国は 9%増の 14 億 6,217 万ドルと好調に推移し、続いて米国が 17%減の 10 億 6,752 万ドル、EU が 17%減の 5 億 9,521 万ドル、香港が 9%減の 4 億 8,483 万ドル、ベトナムが 8%減の 4 億 425 万ドル、日本が 1%増の 3 億 6,328 万ドル、インドネシアが 3%増の 3 億 390 万ドル、アラブ首長国が 13%減の 1 億 7,069 万ドルの順となっている。

品目別輸出では、原料関係では、綿類の輸出は、数量で 12%減の 35 万 5,030 トンとなったが、単価のアップにより、金額では 8%増の 4 億 9,291 万ドルと大幅に伸びた。

太宗品目はポリエステル綿を中心とする合繊綿で、数量で 11%減の 34 万 2,303 トン、但し金額では 9%増の 4 億 6,590 万ドルと数量減の金額増となった。合繊綿の最大市場は中国で、数量で 10%減の 10 万 4,399 トン、金額で 8%増の 1 億 5,224 万ドル、続く市場の EU は数量で 11%減の 5 万 9,806 トン、金額で 8%増の 7,743 万ドル、第 3 位の米国は数量で 16%減の 5 万 9,797 トン、金額で 10%増の 7,485 万ドルと、何れも数量減の金額増となった。この 3 カ国で数量ベース全体の 65%を占めている。

糸類の輸出は、数量で 22%減の 23 万 68 トン、金額で 7%減の 7 億 3,037 万ドルと数量、金額共に減少した。

太宗品目は合繊長繊維糸で、ポリエステル長繊維糸を中心に、数量で 25%減の 19 万 6,363 トン、金額で 9%減の 5 億 7,652 万ドルとなった。合繊長繊維糸の最大市場も中国で、数量で 28%減の 4 万 3,212 トン、金額で 5%減の 1 億 3,126 万ドル、第 2 位の EU も数量で 28%減の 2 万 7,156 トン、金額で 8%減の 8,615 万ドルと大きく減少したが、第 3 位の米国は数量で 6%増の 2 万 2,347 トン、金額で 32%増の 5,625 万ドルと数量、金額共に大幅に増加した。

最大輸出品目の織物類の輸出は、金額で 6%減の 16 億 1,205 万ドルと不振推移となっている。

中でも韓国繊維品輸出の代表的品目でありその動向が注目されるポリエステル長繊維織物は、数量で 17%減の 7 億 9,308 万平方メートル (SM)、金額で 9%減の 7 億 4,567 万ドルと依然低調な推移となっている。

ポリエステル長繊維織物の主要輸出国別では、1 位が中国で 10%減の 9,841 万 SM、2 位は枠がフリーになった米国で 24%増の 8,097 万 SM、3 位がアラブ首長国で 20%減の 6,540 万 SM、4 位のサウジアラビアは 13%減の 6,210 万 SM、5 位の香港は 1%減の 5,818 万 SM となっている。その他主要市場は、EU (4,993 万 SM : 3%減)、インドネシア (4,246 万 SM : 26%減)、トルコ (4,174 万 SM : 1%増) 等となっている。

その他主要織物類では、綿織物が 6%減の 3 万 3,900 トン、合繊短繊維織物が 12%減の 1 万 7,948 トン、人絹織物が 10%減の 1 億 2,011 万 SM、ニット生地は金額で 5%減の 13 億 2,494 万ドルとなっている。

衣料品の輸出は、布帛製衣料品が 28%減の 4 億 6,941 万ドル、ニット衣料品も 23%減の 6 億 298 万ドルと、何れも低調な推移となった。

2005年1～6月の韓国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2004年実績		2005年(1～6)		2004年実績		2005年(1～6)		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	TON	6,683,284	TON	3,171,057	TON	6,830,778	TON	88	93
スフ綿	TON	378,948	TON	216,570	TON	492,908	TON	88	108
合繊綿	TON	46,471	TON	23,770	TON	17,552	TON	82	104
(ポリエステル)	TON	17,971	TON	9,748	TON	465,896	TON	89	109
(アクリル)	TON	3,314	TON	1,631	TON	334,628	TON	86	105
糸合計	TON	6,556	TON	3,857	TON	104,277	TON	100	114
人絹糸	TON	510,476	TON	262,851	TON	730,366	TON	78	93
スフ糸	TON	42,335	TON	17,582	TON	5,286	TON	129	120
合繊長繊維糸	TON	16,506	TON	8,902	TON	14,199	TON	122	143
(ナイロン)	TON	104,210	TON	62,117	TON	576,524	TON	75	91
(ポリエステル)	TON	20,941	TON	11,455	TON	97,894	TON	91	122
合繊短繊維糸	TON	68,022	TON	42,308	TON	278,340	TON	70	91
綿糸	TON	142,142	TON	67,373	TON	44,827	TON	95	99
糸合計	TON	194,005	TON	102,000	TON	65,602	TON	112	107
繊維品合計		1,015,602		503,891		1,612,052		94	
絹織物	TON	2,152	TON	94,621	TON	64,399	TON	101	107
人絹織物	千SM	4,553	千SM	1,776	千SM	83,453	千SM	90	99
スフ織物	TON	7,971	TON	46,145	TON	65,330	TON	77	84
合繊長繊維織物	千SM	250,897	千SM	140,601	千SM	921,064	千SM	79	91
(ナイロン)	千SM	7,337	千SM	2,516	千SM	64,558	千SM	58	81
(ポリエステル)	千SM	177,674	千SM	84,708	千SM	745,671	千SM	83	91
合繊短繊維織物	TON	51,178	TON	179,608	TON	108,183	TON	88	98
綿織物	TON	84,194	TON	381,871	TON	316,814	TON	94	97
毛織物	TON	3,507	TON	124,368	TON	45,011	TON	115	110
不織布	TON	22,932	TON	101,664	TON	197,546	TON	116	122
タイヤコード織物	TON	12,129	TON	45,427	TON	150,449	TON	103	116
コーテッド織物	TON	7,804	TON	59,373	TON	458,107	TON	82	87
ニット生地						1,324,940		95	
ニット製衣料						602,982		77	
布帛製衣料						1,389,235		72	
その他						792,016		107	

出所:韓国通関統計

<輸入は横ばいの 31 億 7,106 万ドル>

韓国の 2005 年 1～6 月の繊維品輸入は、前年同期比横ばいの 31 億 7,106 万ドルとなっている。

地域別、国別では、シェア 75%を占める東アジアは、横ばいの 23 億 7,179 万ドルとなった。国別では、最大輸入国の中国は 6%増の 15 億 6,636 万ドル、日本は 6%減の 2 億 890 万ドル、インドは 32%減の 1 億 3,518 万ドル、インドネシアは 5%増の 1 億 507 万ドルとなっている。また、シェア 13%の欧州からの輸入は、単独では中国に次ぐ市場の EU が増加し 4%増の 4 億 1,178 万ドル、一方 8%を占める北米は、米国からの輸入増加から 11%増の 2 億 4,700 万ドルとなった。

品目別輸入では、綿類の輸入は数量で 15%増の 21 万 6,570 トン、金額で 3%減の 4 億 524 万ドルと、数量増の金額減となった。その大半は、天然繊維原料の輸入である。

糸類の輸入は数量で 2%減の 26 万 2,851 トン、金額で 6%減の 7 億 2,051 万ドルと数量、金額共に減少推移となった。内訳は、最大品目の綿糸が数量で 12%減の 10 万 2,000 トン、金額で 25%減の 2 億 4,506 万ドルと大きく減少したが、合繊長繊維糸は、ポリエステル糸の激増により、数量で 18%増の 6 万 2,117 トン、金額で 16%増の 1 億 8,169 万ドルと大きく伸びた。その他の糸では、合繊短繊維糸が数量で 5%増の 6 万 7,373 トン、金額で 13%増の 1 億 6,387 万ドル、人絹糸が数量で 23%減の 1 万 7,582 トン、金額で 13%減の 6,857 万ドルとなっている。

織物類の輸入は、金額で 2%増の 5 億 389 万ドルとなった。主要織物の内訳は、綿織物が数量で 21%増の 4 万 8,903 トン、金額で 16%増の 2 億 1,285 万ドルと大きく増加、その他の織物では、合繊長繊維織物が数量で 12%減の 1 億 2,664 万 SM、金額で 3%増の 7,345 万ドル、合繊短繊維織物が数量で 5%減の 2 万 3,730 トン、金額で 7%減の 8,098 万ドルとなった。

また、衣料品の輸入は、ニット製衣料品が 13%減の 3 億 5,154 万ドルと減少しているが、布帛製衣料品は 5%増の 7 億 5,293 万ドルと増加推移となっている。



◎ 2005 年 1～3 月の繊維品貿易・輸出は大幅な増加、輸入は低調

<輸出は 42%増の 21 億 2,598 万ドルと大幅な増加推移>

インドネシアの繊維産業は、中国品等との競合激化、また国内的には、人件費の高騰など諸経費のコストアップもあり、競争力の低下が懸念されているが、2005 年 1～3 月の繊維品輸出は、昨年第 1 四半期が特に不振だったこともあり、衣料品を中心に各地域向けに好調に伸び、

前年同期比 42%増の 21 億 2,598 万ドルと大幅な増加となっている。

地域別輸出をみると、シェア 36%の北米は 55%増、同 26%の東アジアは 41%増、同 21%の欧州は 25%増と、主要地域は揃って好調な推移となっている。

主要輸出国は、米国（7 億 4,032 万ドル：55%増）、EU（3 億 8,837 万ドル：21%増）、日本（1 億 2,813 万ドル：27%増）、アラブ首長国（7,486 万ドル：21%増）、シンガポール（5,587 万ドル：90%増）、韓国（5,553 万ドル：47%増）、香港（4,667 万ドル：31%増）、トルコ（4,648 万ドル：122%増）、マレーシア（4,339 万ドル：25%増）、中国（3,517 万ドル：2%増）の順で、軒並み増加推移となっている。

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の 57%を占めているが、このうち、ニット製衣料品は 73%増の 4 億 3,627 万ドル、太宗の布帛製衣料品も 32%増の 7 億 8,574 万ドルと共に大幅な増勢推移となった。ニット衣料品市場のベスト 5 は、米国（2 億 25 万ドル：107%増）、EU（1 億 1,329 万ドル：37%増）、シンガポール（2,250 万ドル：139%増）、アラブ首長国（1,715 万ドル：88%増）、日本（1,182 万ドル：55%増）の順で、特に米国、EU 向けで全体の 72%と圧倒的なシェアを占めている。布帛製衣料品市場のベスト 5 は米国（4 億 9,109 万ドル：43%増）、EU（1 億 4,635 万ドル：11%増）、日本（2,409 万ドル：40%増）、カナダ（1,979 万ドル：54%増）、アラブ首長国（1,952 万ドル：5%）で、ここでも米国、EU 向けで 81%と圧倒的なシェアを占めている。今年から枠が撤廃された欧米向けには、中国の躍進による影響が危惧されたが、今のところインドネシアも健闘しており、その影響は見られない。

織物類の輸出も好調に推移しており、全体で 33%増の 3 億 123 万ドルとなっている。昨年は大幅な減少となった合繊長繊維織物は 17%増の 1 億 902 万ドルと回復している。合繊長繊維織物市場のベスト 5 は、アラブ首長国（2,213 万ドル：16%増）、EU（1,593 万ドル：11%増）、マレーシア（1,208 万ドル：23%増）、サウジアラビア（909 万ドル：140%増）、日本（508 万ドル：60%増）の順で、何れも好調な推移となっている。

その他の織物では、綿織物が 72%増の 1 億 697 万ドルと大幅に増加、合繊短繊維織物も 20%増の 6,473 万ドル好調な推移となっている。綿織物の主要市場は EU（2,076 万ドル：38%増）、香港（1,481 万ドル：128%増）、バングラデシュ（886 万ドル：105%増）、日本（770 万ドル：1%減）の順となっている。また、合繊短繊維織物の主要市場は、EU（1,593 万ドル：51%増）、日本（806 万ドル：40%増）、アラブ首長国（516 万ドル：9%増）、中国（449 万ドル：11%減）となっている。

原料関係の輸出も好調で、綿類は、スフ綿が大きく伸び、合繊綿も健闘し、全体で 78%増の 5,563 万ドルとなった。また、糸類の輸出も、綿糸は伸び悩んでいるが、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸が特に大きく伸び、糸全体としては 34%増の 3 億 9,580 万ドルと好調な推移となった。

2005年1～3月のインドネシアの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸				入				
	2004年実績		2005年(1～3)		2004年実績		2005年(1～3)		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									96
原料(綿)合計	TON	7,647,441	39,404	2,125,980	TON	1,718,546	156,276	214,975	101
スフ綿	TON	152,413	197,805	18,381	55,631	TON	1,898	1,639	61
合繊綿	TON	63,272	97,467	10,408	30,130	TON	14,898	3,203	70
(ポリエステル)	TON	47,177	54,618	9,782	12,789	TON	238,129	52,617	92
(アクリル)	TON	42,581	48,564	11,861	104	TON	73,044	13,027	140
糸合計	TON	388	476	115	103	TON	154,434	19,698	82
人絹糸	TON	720,625	1,480,158	191,305	395,801	TON	244,889	26,306	121
スフ糸	TON	1,866	5,780	629	1,874	TON	64,400	5,301	99
合繊長繊維糸	TON	53,510	125,757	14,564	34,910	TON	506	91	666
(ナイロン)	TON	284,239	468,285	81,504	147,240	TON	106,935	13,548	120
(ポリエステル)	TON	40,640	101,624	9,511	29,574	TON	26,332	2,052	73
合繊短繊維糸	TON	239,290	350,721	71,015	113,553	TON	50,816	9,593	146
綿糸	TON	247,826	523,237	63,895	135,864	TON	16,781	834	63
綿物合計	TON	129,567	348,274	30,172	73,686	TON	50,570	5,228	127
絹織物	TON	0	1,142,426	0	301,226		211,658	0	82
人絹織物	TON	1,361	8,503	895	4,627	TON	136	4	100
スフ織物							5,527	1,562	161
合繊長繊維織物							3,393	323	27
(ナイロン)							67,386	12,414	65
(ポリエステル)							6,575	836	43
合繊短繊維織物							43,569	8,100	68
綿織物							24,785	4,601	106
毛織物	TON	81	625	413	106,969	TON	102,505	22,259	93
不織布	TON	10,172	21,955	2,855	6,368	TON	1,940	20	72
タイヤコード織物	TON	19,578	66,653	6,334	25,103	TON	29,586	2,498	93
コーテッド織物	TON	5,289	20,031	1,088	5,092	TON	36,931	3,167	112
ニット生地	TON	15,607	100,405	4,254	23,131	TON	39,807	2,035	59
ニット製衣料							72,397	3,197	111
布帛製衣料							17,015	5,902	302
その他							11,229	7,388	542
							98,774	28,205	125

	輸				出				
	2004年実績		2005年(1～3)		2004年実績		2005年(1～3)		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									142
原料(綿)合計	TON	7,647,441	39,404	2,125,980	TON	197,805	18,381	55,631	139
スフ綿	TON	152,413	197,805	18,381	55,631	TON	1,898	1,639	178
合繊綿	TON	63,272	97,467	10,408	30,130	TON	14,898	3,203	214
(ポリエステル)	TON	47,177	54,618	9,782	12,789	TON	238,129	52,617	296
(アクリル)	TON	42,581	48,564	11,861	104	TON	73,044	13,027	109
糸合計	TON	388	476	115	103	TON	154,434	19,698	117
人絹糸	TON	720,625	1,480,158	191,305	395,801	TON	244,889	26,306	148
スフ糸	TON	1,866	5,780	629	1,874	TON	64,400	5,301	134
合繊長繊維糸	TON	53,510	125,757	14,564	34,910	TON	506	91	119
(ナイロン)	TON	284,239	468,285	81,504	147,240	TON	106,935	13,548	113
(ポリエステル)	TON	40,640	101,624	9,511	29,574	TON	26,332	2,052	158
合繊短繊維糸	TON	239,290	350,721	71,015	113,553	TON	50,816	9,593	117
綿糸	TON	247,826	523,237	63,895	135,864	TON	16,781	834	179
綿物合計	TON	129,567	348,274	30,172	73,686	TON	50,570	5,228	146
絹織物	TON	0	1,142,426	0	301,226		211,658	0	98
人絹織物	TON	1,361	8,503	895	4,627	TON	136	4	133
スフ織物							5,527	1,562	52014
合繊長繊維織物							3,393	323	54
(ナイロン)							67,386	12,414	143
(ポリエステル)							6,575	836	117
合繊短繊維織物							43,569	8,100	149
綿織物							24,785	4,601	97
毛織物	TON	81	625	413	106,969	TON	102,505	22,259	120
不織布	TON	10,172	21,955	2,855	6,368	TON	1,940	20	172
タイヤコード織物	TON	19,578	66,653	6,334	25,103	TON	29,586	2,498	23867
コーテッド織物	TON	5,289	20,031	1,088	5,092	TON	36,931	3,167	154
ニット生地	TON	15,607	100,405	4,254	23,131	TON	39,807	2,035	163
ニット製衣料							72,397	3,197	152
布帛製衣料							17,015	5,902	105
その他							11,229	7,388	118
							98,774	28,205	173
							11,229	7,388	132
							98,774	28,205	154

出所：インドネシア通関統計

<輸入は4%減の4億523万ドルと低調に推移>

輸入は、原料(綿関係)を中心に低調に推移し、全体として4%減の4億523万ドルと減少推移となっている。

地域別では、シェア55%を占める東アジアからの輸入は4%増の2億2,155万ドル、シェア21%の北米は3%増の8,515万ドルと増加推移となったが、シェア5%のアフリカは51%減の2,112万ドル、シェア6%の欧州は17%減の2,414万ドル、同じくシェア6%の大洋州は37%減の2,270万ドルと大きく後退した。

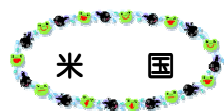
国別の主要輸入先は、米国(8,309万ドル:2%増)、中国(4,641万ドル:12%増)、台湾(3,893万ドル:25%減)、韓国(2,845万ドル:29%減)、日本(2,327万ドル:4%減)、豪州(2,212万ドル:37%減)、EU(2,183万ドル:15%増)の順となっている。

品目別では、綿関係は、合繊綿の輸入が金額的に増加したが、綿花、羊毛等の天然原料の輸入が減少し、綿全体として10%減の2億1,498万ドルとなった。糸関係では、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸また綿糸の輸入が増大し、全体で12%増の6,417万ドルとなった。

織物類の輸入は、綿織物、合繊長繊維織物が大きく減少し、全体で18%減の4,221万ドルとなった。

その他では、ニット生地は11%増の1,827万ドル、タイヤコード織物は31%増の1,195万ドルと増加している。衣料品の輸入は、未だ額的には小さいが、ニット製衣料品が202%増の590万ドル、布帛製衣料品は442%増の739万ドルと、主に中国からの輸入急増により、驚異的な伸びを記録している。

(注) 織物の統計は、例えば同じ合繊長繊維織物に分類される織物でありながら、その統計番号により、単位がKGとSMに分かれており、統一された数量が抽出できないため、金額ベースのみの統計となっている。



◎ 2005年6月の繊維品輸入・中国からの急増で過去最高を記録

2005年6月の米繊維品輸入は前年同月比7.1%増の45億5,200万SME(平方メートル換算)と、過去最高の月間輸入量を記録した。このうち、ノン・アパレル(紡織品(=糸、織物)、その他繊維製品)は24億8,800万SMEで1.4%減と2001年12月以来約3年半ぶりの減少となったが、アパレル(衣料品)は20億6,500万SMEで19.5%の大幅増となり、11カ月連続の増加を記録した。

地域別では、中国からの輸入が 46.6%増の 16 億 9,300 万 SME と引き続き大幅な増加となり、6 月の月間最高記録達成に大きく貢献した。

米 国 の 織 維 品 輸 入 推 移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合 計	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,704	▲ 0.7	16,104	0.4	32,810	▲ 0.2
2002年	21,028	25.9	17,256	7.2	38,285	16.7
2003年	23,362	11.1	18,864	9.3	42,226	10.3
2004年	26,976	15.5	19,652	4.2	46,628	10.4
2005年	14,166	5.5	10,452	14.5	24,617	9.1
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	22.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	▲ 1.4	2,065	19.5	4,552	7.1

注：前年比は増減、▲は減少を示す（以下の表同じ）。出所：米商務省（DOC）

2005年1～6月の米繊維品輸入は246億1,700万SMEで前年同期比9.1%増となった。このうち、ノン・アパレルは141億6,600万SMEで5.5%増、アパレルは104億5,200万SMEで14.5%増となった。この1～6月の輸入量も、上半期としては過去最高である。

1～6月の地域別輸入は、アジア地域では、中国を中心とするビッグ4（中国、香港、台湾、韓国）からの輸入が大きく伸びており、他方アセアンは停滞している。

また、米近隣地域では、カリブ海諸国（CBI）からの輸入が順調に推移しているが、NAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコとカナダ）は低迷している。

その他、EU（15カ国）からの輸入は停滞しているが、主要地域に含まれない「その他地域」では、東アジア諸国からの輸入が活況を呈している。

主要地域別輸入状況は、以下の通り。

○ アジア地域では、いわゆるビッグ4からの輸入が28.7%増と大きく伸びており、特に中国は46.6%の大幅増となり、そのシェアは前年同期の24%から32%に拡大し、第1位供給国として、米繊維品輸入市場を支配している。中国からの輸入では、特にアパレルが米輸入クォータ廃止により2.3倍と急増している。そのほかの品目も、糸が94%増、織物が66%増、その他繊維製品が18%増と、いずれも大きく増加している。

他方、他のビッグ4構成国の韓国、台湾、香港はいずれも中国の大躍進の煽りを受けて大きく減少している。ビッグ4の中で中国に続く大手供給国である韓国からの輸入は主力の織物の不振で13.4%減、香港は太宗品目の衣料品が低調で24.2%減、台湾は衣料品と織物が低迷し20.2%減となった。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年 1～6月	前年 同期比
全世界	32,864	32,812	38,288	42,225	46,628	24,617	9.1
NAFTA	7,951	7,558	7,722	7,238	7,351	3,529	▲5.3
メキシコ	4,747	4,290	4,335	3,926	4,087	1,965	▲4.4
カナダ	3,204	3,268	3,387	3,312	3,264	1,564	▲6.9
CBI	3,788	3,704	3,830	4,046	3,919	2,117	6.9
ホンジュラス	1,046	1,032	1,099	1,165	1,108	631	10.3
エルサルバドル	757	768	817	895	824	460	7.0
ドミニカ共和国	859	773	743	758	746	372	3.8
ビッグ4	5,886	5,911	9,348	12,632	16,126	9,607	28.7
中国	2,218	2,211	4,963	8,287	11,664	7,882	46.6
韓国	1,312	1,383	2,032	2,097	2,301	949	▲13.4
台湾	1,233	1,224	1,391	1,356	1,299	491	▲20.2
香港	1,123	1,092	962	892	862	285	▲24.2
アセアン	4,228	4,390	4,766	4,980	5,135	2,357	▲3.5
タイ	1,317	1,308	1,316	1,098	1,111	499	▲4.6
インドネシア	1,053	1,165	1,215	1,151	1,274	644	▲1.4
フィリピン	929	916	817	794	711	294	▲14.4
ベトナム	35	33	358	827	905	420	4.7
カンボジア	265	389	474	561	673	306	7.8
EU（15カ国）	1,863	1,868	2,055	2,058	2,059	1,015	▲3.8
イタリー	562	521	518	533	462	218	▲8.3
ドイツ	359	457	551	484	476	236	▲3.3
その他	9,148	9,381	10,567	11,272	12,038	5,992	2.0
パキスタン	1,997	2,189	2,537	2,690	2,966	1,559	5.9
インド	1,248	1,250	1,545	1,666	1,914	1,169	24.2
バングラデシュ	1,131	1,169	1,150	1,110	1,103	635	19.4
トルコ	867	871	1,068	1,026	981	443	▲8.8

○ アセアンからの輸入は、全体としては3.5%減と停滞している。ベトナムとカンボジアの新興市場は、主力の衣料品が好調でそれぞれ4.7%増、7.8%増と伸びている。

しかし、タイ、インドネシア、フィリピンの伝統市場は低迷しており、タイは糸と織物、インドネシアは糸とその他繊維製品、フィリピンは衣料品の減少が影響して、それぞれ4.6%減、1.4%減、14.4%減と落ち込んでいる。

○ 米近隣地域では、NAFTA パートナーのメキシコとカナダからの輸入は、メキシコは糸、

織物、衣料品の不振で 4.4%減、またカナダは糸、織物、その他繊維製品の不調で 6.9%減となり、この結果、メキシコとカナダの両国合わせた NAFTA パートナーからの輸入は 5.3%減となった。それでも、メキシコとカナダは、それぞれ供給国第 2 位と第 3 位の地位を保持している。

- 一方、カリブ海諸国 (CBI) からの輸入は 6.9%増と順調に推移している。CBI の中では、最大手のホンジュラスが 10.3%増、エルサルバドルが 7.0%増、ドミニカ共和国が 3.8%増となった。CBI からの輸入は、アパレルが 96%と殆どを占めている。
- EU (15 カ国) からの輸入は 3.8%減となった。EU の主力国であるイタリアとドイツは共に織物の不振が影響して、それぞれ 8.3%、3.3%の減少となった。
- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」では、東アジア諸国からの輸入が活況を呈している。

中国、メキシコ、カナダに次いで供給国第 4 位の座を占めているパキスタンは好調な衣料品とその他繊維製品に支えられて 5.9%増、インドは主力の織物、衣料品、その他繊維製品の大幅増を反映して 24.2%増、バングラデシュは衣料品を主体に 19.4%増となった。

◎ 2005 年 7 月の米大手小売店販売、堅調

－71 社で 3.6%増－

米国の国際ショッピング・センター協会 (ICSC) が纏めた「米チェーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店 (71 社) の 2005 年 7 月の売上高は前年同月比 (既存店比、以下同じ) 3.6%増と堅調に伸びた。これは、前月の伸び (5.2%増) を大きく下回ったものの、前年同月 (3.8%増) のほぼ横ばいであった。

ストア・タイプ別販売では、ディスカウント・ストアが 4.0%増、衣料品専門店チェーンが 2.4%増と堅調に推移したが、百貨店は 0.6%の僅かな伸びにとどまった。

その他では、家具店が 8.1%増と大幅な伸び率を示し、ホールセール・クラブは 5.0%増、ラグジュアリー・ストアは 4.7%増、ドラッグ・ストアは 4.6%増と順調に推移した。

アナリストは、「小売店にとって、7 月は過渡期で、多くの小売店が夏物のクリアランス・セールを繰り広げたが、夏物在庫の減少から活気を欠き、また一部の小売店が新学期用の秋物を売りに出して拡販を狙ったが、暑い天候で秋物に対する消費者の反応は余り盛り上がらなかったが、旺盛な自動車需要に支えられて、全体では堅調な売上げを示した。今後の見通しについては、旺盛な自動車需要に見られるように、消費支出は引続き順調に推移する見通しから、8 月の小売販売は 4%程度の伸びが期待される」と予想している。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：％

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
1月	8.2	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6
2月	7.6	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9
3月	9.9	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1
4月	4.2	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2
5月	6.8	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9
6月	7.4	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2
7月	6.9	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6
8月	6.7	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	
9月	6.7	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	
10月	5.7	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	
11月	4.1	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	
12月	6.7	0.7	2.2	1.0	3.9	2.7	
年間平均	6.7	4.0	2.6	3.1	2.9	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。（以下の表、同じ）

<百貨店>

大手百貨店の7月の販売は、全体としては伸び悩んだが、高級百貨店は好調であり、ニーマン・マーカスは8.8%の大幅増となり、ノードストロムは3.6%増と順調に推移した。しかし、サクスは0.3%の微増にとどまった。

このうち、ニーマン・マーカスは、部門別では、ニーマン・マーカスやバードルフ・グッドマンで構成される専門小売店部門は4%増、ダイレクト・メール部門は21%増となった。うち、専門小売店部門は、地域別では南東部、西部、テキサス州、商品別では女性用の高級アパレル、コンテンポラリー・スポーツウエア、アクセサリ、デザイナー・ハンドバッグ、男性用のシューズが好調な売行きを示した。また、ダイレクト・メール部門では、女性用のアパレル、シューズ、ハンドバッグ、アクセサリ、男性用アパレルがトップセール品目に入った。

また、サクスは、部門別では、サクス・フィフス・アベニュー・ストア等で構成されるサクス・フィフス・アベニュー・エンタープライズ（SFAE）部門が4%増となったが、パリジャン等の百貨店で構成されるサクス・デパートメント・ストア・グループ（SDSG）部門は3%減となった。また、トップセール品目は、SDSG部門ではインティメート・アパレル、アクセサリ、女性用スペシャルサイズ・アパレル、ジュニア用アパレル、SFAE部門では女性用と男性用のコンテンポラリー・アパレル、モダン・スポーツウエア、女性用デザイナー・アパレル、アクセサリであった。

他方、中級百貨店は引続き活発さを欠き、ディラードは2.0%増、J. C. ペニーは1.6%増と若干増にとどまり、フェデレーテッドは0.9%減、コールズは0.5%減、メイは3.3%減となっ

た。

このうち、ディラードは、地域別販売では西部が全体の平均伸び率を上回ったが、東部と中部は僅かに下回った。また、商品別では、ランジェリー、アクセサリ、シューズが全体の平均伸び率をかなり上回ったが、子供用アパレルと家庭用装飾品はかなり下回った。

また、J. C. ペニーでは、7月のベスト・セール品目は女性用アクセサリ、男性用スポーツウエア、ジュニア用品であり、地域別では西部と南東部が好調であった。

<衣料品専門店チェーン>

大手衣料品専門店チェーンの7月の販売は、全体として堅調に推移し、特にティーンズ向け衣料品店チェーンのアバクロンビー&フィッチとアメリカン・イーグルはそれぞれ22.0%増、17.1%増と著しい増加を示した。他方、同じ若者向け衣料品専門店チェーンでも、ギャップは4.0%減となり、リミテッド・ブランドは1.0%の微増にとどまった。

このうち、若者向け衣料品専門店チェーン最大手のギャップの部門別販売では、バナナ・リパブリックが7%増、インターナショナル部門が4%増となったが、ギャップは8%減、オールド・ネイビーは5%減となった。同社首脳は、「大規模な販売促進に努めたにも拘らず、7月の販売が落ち込んだことに失望している」と述べている。

また、衣料品専門店チェーン第2位の地位にあるリミテッド・ブランドの部門別販売では、女性用ファッション衣料品専門店のリミテッド・ストアが2%増となったが、男女の既製服及びカジュアルウエア専門店のエクスプレスが11%減となり、衣料品部門合計で8%減となった。また、女性下着専門店のビクトリアズ・シークレットは7%増、バス用品専門店のバス・アンド・ボディー・ワークスは2%増となり、衣料品部門の不振を補った。

キャリアウーマン向け主体の衣料品専門店チェーンでは、タルボットが11.3%増と好調に推移したが、アン・テラー・ストアは3.5%の減少となり、明暗が分かれた。

このうち、タルボットは、「7月は伝統的に夏物のクリアランス・セールの月であるが、今年はある地域とコンセプトで値引き販売が好調であったことから予想以上の大幅増となった」と説明している。

また、アン・テラー・ストアは、部門別では、アン・テラー・ロフト（手頃価格衣料品店）部門が1%増となったが、アン・テラー（高級衣料品店）部門は10%の大幅減となった。

その他では、男性用ビジネス・アパレル専門店のメンズ・ウエアハウスは8.8%の大幅増となったが、女性用ラージ・サイズ衣料品専門店大手のチャーミング・ショップズは横ばいにとどまった。

このうち、チャーミング・ショップズは、「7月の販売は、夏物の大幅な値引き販売で、予想を下回った」と説明している。

<ディスカウント・ストア>

大手ディスカウント・ストアの7月の販売は、ターゲットが5.5%増、ウォル・マートが4.4%増と、何れも順調に推移した。

このうち、このうち、米国のみならず、世界最大の小売企業であるウォル・マートの部門別

販売は、スーパーセンターのウォル・マート部門が4%、ホールセール・クラブのサムズ・クラブ部門が5%のそれぞれ増加となった。ウォル・マート部門の販売は、地域では西部と東部が好調であり、商品としては食料品が雑貨類を上回った。

米主要小売店の2005年7月の販売状況

単位：100万ドル、%

小売店名	売上高	
	前年同月比	
<百貨店>		
ディラード	544	2.0
フェデレーテッド	998	-0.9
J.C.ペニー	1,003	1.6
コールズ	846	-0.5
メイ	927	-3.3
ニーマン・マーカス	230	8.8
ノードストロム	787	3.6
サクス	340	0.3
<衣料品専門店チェーン>		
アバクロンビー&フィッチ	191	22.0
アメリカン・イーグル	175	17.1
アン・テラー・ストア	139	-3.5
エアロポステール	84	-4.2
チャーミング・ショップズ	201	0.0
ギャップ	1,040	-4.0
リミテッド・ブランド	596	1.0
メンズ・ウエアハウス	93	8.8
パシフィック・サンウエア	111	4.0
タルボット	115	11.3
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	3,593	5.5
ウォル・マート)	22,811	4.4
<オフプライス・ストア>		
ロス・ストアズ	362	7.0
TJX	1,100	1.0

<オフプライス・ストア>

アパレルやホーム・ファッションのブランド商品等をディスカウント・プライスで販売するオフプライス・ストアの7月の販売では、TJXは1.0%の微増にとどまったが、ロス・ストアズは7.0%増と好調に推移した。

このうち、ロス・ストアズは、地域的には南西部が二桁増、カリフォルニア州が8%増となり、商品では新学期用品が好調でジュニア用品とシューズは二桁増となった。

組合関係の会議と催事

【2005年8月】

輸出入

I. 日本繊維産業連盟「常任委員会」へ小藪理事長が出席。

輸出

I. 「第1回ブラジル繊維市場調査団打合せ会」開催。
II. 「第2回ロシア繊維市場調査団打合せ会」開催。

輸入

I. 「第137回企画委員会」開催。
II. 「2005年度（第6次）第1回組合運営に関するタスクフォース」開催。

1日(月)

輸入 (東京) 山東省東営市対外貿易経済合作局.許其杰副局長ほかが来所され、東営市開発区への投資と交流、合作に関する協力依頼があった。

2日(火)

輸入 (東京) 「2005年度（第6次）第1回組合運営に関するタスクフォース」（池西議長）が開催され、①議長互選②日タイ FTA 交渉③今後の検討課題について審議と説明が行われた。

3日(水)

輸出入 (東京) 日本繊維産業連盟の「常任委員会」（前田会長）が、霞が関東京會館で開催され、経済産業省製造産業局・奥田次長との懇談・意見交換の後、最近の繊維 FTA 交渉等について検討が行われた。小藪輸出入組合理事長が常任委員として出席された。

5日(金)

輸出 (大阪) 「第1回ブラジル繊維市場調査団打合せ会」が、輸出組合会議室で開催され、団長に千速晴康氏（丸紅株式会社）が選任され、調査日程、調査地域、調査項目等について検討が行われた。

輸入 (小松) 「第87回寝具インテリア委員会」（吉田委員長）が開催され、インテリアライフスタイル展への出展結果について報告の後、情報交換を行った。

(東京) 第1回 JFW に関する打合せが行われた。

10日(水)

輸入 (東京) 「第137回企画委員会」（吉澤委員長）が開催され、①正副委員長互選②タイ・インドネシア等の FTA 進捗状況③今年度の事業強化④業務報告（アパレル委員会ミッション、絹委員会ミッション、「繊維製品の原産国表示に係わる研究会」、繊維製品輸入状況）についてそれぞれ説明、審議が行われた。

18日(木)

輸入 (東京) 第2回 JFW に関する打合せが行われた。

22日(月)

輸入 (東京) 「商社間情報懇談会」が開催され、FTA 交渉ほかについて説明、審議が行われた。

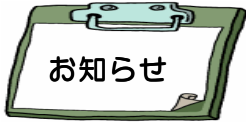
23日(火)

輸出 (大阪) 「第 2 回ロシア繊維市場調査団打合せ会」が輸出組合会議室で開催され、西田団長の団員交替に伴い、新団長に後任の岩佐和幸氏 (丸紅株式会社) が選任された後、調査日程、調査地域、調査項目等の細目について検討が行われた。

輸入 (東京) 日本黄麻製品輸入協議会「第 116 回運営委員会」(塩田委員長) が開催され、「エコプロダクト国際展 2005」への視察について検討が行われた。

9月のスケジュール (9月1日現在)

2日(金)	輸入 (東京)	「貿易制度専門委員会 第8回関税評価対策G」
4日(日)~ 7日(水)	輸入 (タイ)	訪タイミッション
7日(水)~ 13日(火)	輸出 (ロシア)	ロシア繊維市場調査
7日(水)	輸入 (大阪)	「第21回綿委員会」
14日(水)	輸入 (大阪)	「第79回中国アジア専門委員会」
28日(水)~ 1日(土)	輸入 (台湾)	訪台湾「TITAS2005」ミッション



◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と
「保険期間延長手続き」（輸出組合）

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 17 年 10 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。
保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

- * 平成 17 年 4 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成 16 年 10 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

（注） 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月となっております。

1. 提出期限：平成 17 年 10 月 20 日（木）
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険（繊維品）
保険期間延長依頼書 2 通
（用紙は事務局で準備しています。）
② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー .. 1 通
3. 提出先：保険部（☎06-6201-1832）

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。（FAX:06-6201-1814）
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る 2005 年 4 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	102346～ 103002 ----- 502911～ 503767	100942～ 101247	100132～ 100155

前受け以外に係る 2004 年 10 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 4	107889～ 108618 ----- 508216～ 509390	103113～ 103454	100390～ 100418

お知らせ

－ 10月の輸入通関手続相談窓口開設日－

10月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2005年10月12日(水)及び10月26日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E-Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

組合員情報

○組合員の脱会

(輸 出) 極東貿易株式会社 (2005年9月15日付)

取引照会・展示会案内

【原文は、輸入及び展示会は輸入組合・市場対策室(Tel:06-6202-5575)に保管していますので、必要な向きはご照会下さい。また、輸出の詳細は同組合のホームページ(<http://www.jtea.or.jp>)をご覧ください。】

輸入

No.4298 ネパール ストール等

会社名 : ROYAL PASHMINA FASHIONS.

住所 : Kamaladi G.P.O.Box No. 4016, Kathmandu, Nepal

担当者 : Mr. Bowdaial, Director

F A X : 977-1-22-6285

T E L : 977-1-22-2182

品目 : Pashmina Stoles, Showls, Blankets, etc.

輸入

No.4299 インド 家庭用品

会社名 : AISWARYA & COMPANY

住所 : P.O.Box No.198, Karur-639 001, India

担当者 : Mr. A. Angamuthu

F A X : 91-4324-65442

T E L : 91-4324-62514

品目 : Bedspreads, Tablecloths, Placemats, Towels, Curtains, Aprons, etc.

輸入

No.4300 インド 衣料品

会社名 : WESTEX INDIA

住所 : #F4, Bamanda Apartments, #2, Flathna Nagar, Taynampet, Off Mount Road,
Chennai-600 010, India

担当者 : Mr. Priya Raju, Administrator

F A X : 91-44-435-9965

T E L : 91-44-435-9981

品目 : Textiles & Leather Garments.

輸入

No.4301 パキスタン デニム生地

会社名 : ARTISTIC DENIMU MILLS LIMITED

住所 : Plot No.7,8,9 & 26 Sector No.16, Korangi Industrial Area, Karachi, Pakistan

担当者 : Mr. Faisal Ahmed, Chief Executive

F A X : 92-21-505-4652

T E L : 92-21-111-236236

品目 : High Fashion Denim.

輸入

No.4302 バングラデシュ ジュート品

会社名 : ROTO CORPORATION

住所 : 38, Nayapalton, Flat # 103, Dhaka-1000, Bangladesh

担当者 : Mr. Rehana Begum

F A X : 880-2-956-5506

T E L : 880-2-933-1712

品目 : Jute Bags, Sacking Cloths, Wall and Table Mats, etc.

《海外》

No.1054 BANGLADESH

バングラデシュ衣類・繊維展示会
(Bangladesh Apparel and Textile Exposition)

会期：2005年9月29日(木)～10月1日(土) 9:30～17:30
会場：Pan Pacific Sonargaon Hotel
主催：Bangladesh Garment Manufacturers & Expoters Association
後援：バングラデシュ大使館
出展社数：約200社
展示商品：紳士・婦人・子供用各種アパレル等
問い合わせ先：バングラデシュ大使館(Tel:03-5704-0216)

No.1055 HONG KONG

インターストップアジア2005年秋季展示会
(Interstoff Asia Autumn 2005)

会期：2005年10月5日(水)～7日(金) 9:30～18:00
会場：Hong Kong Convention & Exhibition Centre, Hall 1
主催：Messe Frankfurt (HK) Limited
出展社数：約300社
展示商品：糸、織物、刺繍・レース地、各種アパレル、アクセサリ等
問い合わせ先：Messe Frankfurt (HK) Ltd(Tel:852-2802-7728)

No.1056 INDIA

第20回インド手織・ギフト製品展示会
(20th Indian Handicrafts & Gifts Fair)

会期：2005年10月13日(木)～17日(月) 9:30～17:30
会場：Pragati Maidan, New Delhi
主催：The Export Promotion Council for Handicrafts
出展社数：約1,600社
展示商品：敷物、家庭用品、家庭用雑貨、家具、宝石、バッグ、アクセサリ等
問い合わせ先：The Export Promotion Council for Handicrafts(Tel:91-11-2613-5256)